

「水路トンネルの内部を通水状態で点検するロボット」を アグリビジネス創出フェア 2014 に出展

11月12日～14日に東京ビッグサイトで開催されたアグリビジネス創出フェアに、「水路トンネルの内部を通水状態で点検するロボット」と題して出展しました。これは、農林水産省の官民連携新技術研究開発事業「農業用水路トンネル・サイホンの不断水調査・診断技術の開発」における研究成果をもとに開発されたもので、トンネルの壁面を自動追尾する機能が搭載されています。今回は、実際に使用しているロボットの実物を展示し、自動追尾の実演を行うとともに、上流から下流に向けてトンネル内部を流れながら点検を行っている場面や、搭載カメラが撮影したトンネルの天井と壁面の映像などについて動画をモニター上に映し出しながら、パネルやパンフレットとあわせて、わかりやすく紹介を行いました。

毎年、本フェアには農業に関わり・関心がある幅広い方々が参集し、貴重な出会いを創り出す場ともなっています。本年の場合、施設の維持管理に携わっていらっしゃる自治体関係者や、大学研究者、コンサルタント、農業分野への新規参入を目指すセンサー・ICT関連企業の方などが来訪されました。また、農研機構の中で農業水利施設の維持管理について研究が行われていることを初めて知り、驚きましたという方もおられました。今回展示した点検ロボットを含め農村工学研究所の研究成果を様々な機会・やり方で発信していきたい、異分野の方々も含めて連携の輪を広げていくことの大切さを改めて感じた次第です。

最後となりますが、ブースにお越し頂いた皆さまと、展示・説明に協力頂いた官民連携新技術研究開発組合（日本工営（株）、ウォールナット（株））ほか関係各位に厚く御礼申し上げます。



水路を点検中のロボット



森主任研究員による説明